

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (近畿)	◎	競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前の客単価は1万2488円で、今月の客単価は1万5010円に上昇する見込みである。
	○	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・年末年始の来客数は、新型コロナウイルス発生前の水準近くまで回復している。
	○	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・3か月前と比べて、年末年始は顕著な回復がみられた。富裕層を中心に、ギフト市場では特選品が好調を維持している。イエナカ需要で、総菜やケーキを中心とした洋菓子が好調なほか、寒さの影響で中間層の防寒ファッションによる底上げもみられる。全体でも、国内の中間層の現金客による売上は、前年比で30%増えている。
	○	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月もコロナ禍の緩和によるリベンジ需要で、前年の実績を約10%上回って推移している。来客数も好調で、バレンタインデーのフェアも前年比で約25%の増加と売上に貢献し、全体としても目標がクリアできそうである。
	○	スーパー（経営者）	お客様の様子	・年明けから1月中旬にかけては厳しかったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、まん延防止等重点措置も適用された結果、家庭での食事が再び増える傾向が、日を迫うごとに強まっている。
	○	スーパー（店員）	販売量の動き	・年末年始は野菜、果物共によく売れた。おせち関連の食材も、今年は売切れになるほど売れている。
	○	その他専門店 [ドラッグストア]（店員）	来客数の動き	・依然としてコロナ禍で来客数が減っている。客単価はリスクに備えた買物で少し上がっているが、外出を余りなくなっているため、化粧品の売上が落ち込んでいる。
	○	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	販売量の動き	・ユニフォームの受注も増えているが、マスクの受注が急激に増加している。
	○	一般レストラン （企画）	販売量の動き	・テレビ番組での紹介といった特殊要因により、売上の前々年比は、直近の3か月と比べて15%程度アップしている。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、アップの幅は10%程度に縮小傾向にある。
	○	観光型ホテル （客室担当）	販売量の動き	・府の観光振興策の好影響が出ている。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・日ごとに客が減っている。
	○	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に不安を感じながらも、客は以前と比べて冷静な対応ができるようになったと感じる。
	○	住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き	・前年の後半から建築資材などの値上げが相次いだが、まだ更なる価格上昇があり得ることを客が察知し、建築やリフォームの駆け込み需要が出ている。
	○	住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・分譲、賃貸マンションの開発用地の価格が高騰しており、デベロッパー間での取得競争が厳しくなっている。
	□	一般小売店 [野菜]（店長）	お客様の様子	・状況は良くなりつつあったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で元に戻った。レストランなどでは客足が激減し、非常に困っているなど、かなり厳しい状況である。
	□	一般小売店 [呉服]（店員）	お客様の様子	・やや景気が良くなり、客足も戻りつつあった頃に、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が爆発的に拡大したため、客足が一気に止まっている。
□	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・当月は目標達成の見込みである。ただし、月前半は福袋やバーゲンが好調であったものの、中盤から新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数が減少となり、売上に影響が出ている。商品の売上に従来と大きな変化はないが、中間層のボリューム価格帯の商品は厳しい。不要不急の商品の購買を抑える傾向は強まっている。	

□	百貨店（販促担当）	来客数の動き	・1月中旬までは、気温の低下などで、来客数は前年を上回るペースで推移し、防寒衣料やグッズなどの動きも活発であった。ただし、月後半は新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大した影響で、特に年配層の来客数が明らかに減少した。レストランの予約キャンセルなど、消費減退の具体的な動きが発生している。
□	百貨店（売場マネージャー）	お客様の様子	・月初は初売りの勢いもみられたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、先行きの見通しは不透明である。
□	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大したため、来客数、売上共に落ち込んでいる。ただし、海外の高級ブランド品や時計については、依然として好調に推移している。
□	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、スーパーでは来客数が増え、単価が上がる傾向がみられる。その分、飲食店とその関連業種を中心に、厳しい状況が続いている。
□	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は急増しているが、以前の緊急事態宣言の発出時ほど、売上の顕著な増加はみられず、比較的落ち着いた動きとなっている。
□	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染第6波の影響は多少みられるが、緊急事態宣言下のような、まとめ買いによる混乱はなく、来店客も冷静に対応しているように感じる。
□	スーパー（社員）	来客数の動き	・年末の売上が前年を上回った店舗が多かった。その要因としては、客単価が伸びたことが大きい。ただし、競合店が出てきた店舗を中心に、全店的に来客数の減少がみられる。
□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用などもあるが、ここ数か月は来客数に変化がない。コロナ禍の状況が変わっても、消費者の生活リズムは戻らないように感じる。
□	コンビニ（店員）	来客数の動き	・休日の外出用の買物などで来店する客は減っているが、平日の昼間などは、特に変化がない。
□	家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数は前年と大きく変わらないが、商品ごとに動きの差がみられる。洗濯機ではドラム式の売上が非常に良く、売上をけん引している。
□	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・受注目標を低めに設定しているため、今月の動きも想定内ではあるが、工場の稼働停止などで製品が届かない。相当数の客に待ってもらっている状態が続いている。
□	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・コロナ禍以降は低水準が続く、この時期に商品を必要としている客だけが動いている状況に変わりはない。
□	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	販売量の動き	・買上点数、客単価共に改善傾向にあるが、来客数は微増にとどまる。新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加により、来客数の増加は期待できない。
□	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	販売量の動き	・飲食や旅行業界では、販促キャンペーンと外出自粛の繰り返しとなっているが、宝飾業界は良くも悪くも変化がみられず、売上や来客数は横ばいである。
□	その他専門店 [スポーツ用品]（経理担当）	販売量の動き	・食料品の価格や電気・ガス代、ガソリン代など、生活必需品の値上がりが続いている。消費を喚起する材料は皆無である。
□	都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数や収入が減るなど、営業面で落ち込んでいる。これまでは回復傾向にあったが、まん延防止等重点措置の適用で営業時間を短縮する必要があり、厳しい状況が続いている。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による人流の減少は、日中に限れば大きく減少しているとは感じないが、流し営業での営業収入は依然として低水準のままである。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、出勤できない店舗スタッフが増加している。徐々に店舗の運営が厳しい状況になりつつある。

□	美容室（店員）	単価の動き	・従来と変わらず、高単価のカラーやトリートメントのオーダーが入っている。
□	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	それ以外	・景気についての変化は見受けられない。
▲	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	お客様の様子	・例年であれば、年度末に向けて商談が活発化する時期であるが、今年は商談数が少ない。さらに、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で自宅待機の動きが増え、様々なところで動きが止まったり、鈍化している。
▲	一般小売店〔花〕（経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用により、取引先の休業などが増えている。戻りかけていた売上が再び止まり、景気も下降気味になっている。
▲	一般小売店〔衣服〕（経営者）	来客数の動き	・1月の前半は来客数が前年比で約2割増え、売上も好調であったが、後半に入って新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したため、来客数は急激に減少している。月後半の来客数は、前半と様変わりし、前年の約3割減となっている。売上自体は、月前半の好調で前年を上回ったが、このままいけば2月は非常に厳しくなる。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用される前に、売上の急降下が始まっている。
▲	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、年明けからの販売量の減少傾向が、日に日に強まっている。
▲	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・1月中旬頃までは、来客数が前年比で10%以上増えた日が多く、売上も新型コロナウイルス発生前には程遠いものの、回復傾向にあった。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者が増えてきた下旬以降は、急激に来客数が減少している。
▲	百貨店（服飾品担当）	来客数の動き	・1月初旬は、年末商戦からの好調な流れが続いたが、中旬からの新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加に伴い、来客数は12月の60～70%に大きく減少した。前年と同様に厳しい年明けとなっている。2月に値上げを予定しているラグジュアリー関連は好調に推移しているが、中間層をターゲットにした商材が大きくダウンし、特に対面での密接な接客が必要な化粧品などが打撃を受けている。売上は、前年の緊急事態宣言下で落ち込んだ実績はクリアしているが、2年前と比べると、インバウンドを除く国内消費は80%ほどに低迷している。この傾向は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少するまで続く予想される。
▲	百貨店（販売推進担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響で、特に1月下旬に入ってから、緊急事態宣言の下で時短営業を続けていた前年よりも、来客数、売上共に更に悪化し、かなり厳しい経済情勢となっている。
▲	百貨店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、1月中旬から来客数が激減している。土日の人出も少なく、最小限の買物だけで済ませているのか、来客数以上にレジ客数が減少している。
▲	百貨店（特選品担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、連休明けの11日以降の来客数が急激に減っている。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる外出の自粛傾向が再び強まっており、食品以外の買い控えがみられる。
▲	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・日用品の動きが悪くなり、売上の前年割れが続いている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用が決まっただけで、来客数が3%減少している。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・またコロナ禍の影響が出てきている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の出勤者数の制限が強まり、通勤客が2～3割減少している。

▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・1月に入って、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大している。
▲	コンビニ（店員）	来客数の動き	・しばらく戻りつつあった来客数が、2～3週間前から少しずつ減っている気がする。ただし、昼間の混雑は変わらず、仕事関係の客も来店しているなど、リモートワークの影響は余り感じられない。
▲	コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大により、客足が減っている。
▲	家電量販店（経営者）	それ以外	・コロナ禍や半導体不足の影響で、様々な商品の入荷に時間が掛かっている。材料の納品や工事が進まず、売上が増えない状況にある。
▲	家電量販店（店員）	来客数の動き	・関西でまん延防止等重点措置が適用され、来店する客が急に減少している。特に、高齢の客が減り、売上に打撃となっている。
▲	家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数の減少が顕著となってきた。特に、土日の来客数の減少が専門店では厳しく、一度に全てがそろうモール型の店舗は、近隣でも来場が多いと感じる。郊外型の専門店では車での移動が中心となるため、燃料費の高騰が移動の自粛につながる事が予想される。
▲	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響からか、来客数が平日の夕方から夜にかけて大きく落ち込んでいる。前倒しで売り尽くしセールを行っているが、効果が出ていない。
▲	家電量販店（営業担当）	それ以外	・ここへきて新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が響いている。
▲	家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・年明けは新型コロナウイルスの感染も小康状態であったため、初売り等は好調に推移した。ただし、中旬以降は新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、販売が低調となっている。
▲	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当店には飲食関係の客が多く、話を聞くと、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響が出ている。前年の10～11月に戻りつつあった売上が、また減少しているようである。
▲	乗用車販売店（営業企画）	お客様の様子	・来客数が減少傾向にある。
▲	その他専門店 [宝石]（経営者）	お客様の様子	・前年末には新型コロナウイルスの感染が収まりつつあったが、年明け以降、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増えている。消費者物価も上がっているため、以前と比べて景気がやや後退していると感じる。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経理担当）	販売量の動き	・好調であった年末年始の反動や、新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大によるテレワークの増加、外出の自粛による人流抑制などで、ガソリンの販売量は減少している。
▲	その他小売 [インターネット通販]（経営者）	お客様の様子	・前年末には、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、客の購買意欲も高まった。これから景気の回復が進むという時に、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増えた。客が外出を控え、来客数は急激に減少している。
▲	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大による外食の自粛や、子供の休校に伴う予約のキャンセルなどが相次ぎ、新規の予約も少ない状況となっている。
▲	都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、宿泊やレストランの予約の動きが鈍化しているほか、宴会のキャンセルや延期が増えている。
▲	都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・前年の10～12月は新型コロナウイルスの感染が一段落し、利用客も増加に転じるなど、回復が目立っていた。1月以降は初旬からの急激な感染の拡大と、まん延防止等重点措置の適用による利用客の減少が続いている。少なくとも、2月中の利用客の減少は否定できない。
▲	旅行代理店（役員）	それ以外	・県民割もあって需要が伸びていたが、ここへきてまん延防止等重点措置の適用が始まり、遠方を始め、近場の旅行需要も激減している。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による人々の不安や、ガソリン価格の高騰の影響もあり、景気が低迷している。

▲	タクシー運転手	来客数の動き	・ 駅やホテルで客を待っているが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、以前よりも人通りが減り、特に夜はかなり少ない。ここ最近では回復しそうな状況であったが、仕事関係の人出も一気に減ったように感じる。
▲	通信会社（経営者）	お客様の様子	・ まん延防止等重点措置の適用により、人流が減少している。
▲	通信会社（社員）	来客数の動き	・ ネット通販の需要の伸びも、そろそろ鈍化傾向に転じつつある。
▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染第6波に伴う、まん延防止等重点措置の適用で、団体客のキャンセルが出ている。また、一般の観光客の出足にも影響している。
▲	住宅販売会社（総務担当）	お客様の様子	・ 新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、客との面談日程の変更が多く、商談が進まない。
▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・ 出展企業による契約数は前年比で増えていたが、今月は住宅取得支援策の終了などで伸びていない。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	単価の動き	・ 半導体不足による電子機器の欠品が相次ぎ、仕事がスムーズに進まない。メーカーからは納期の回答もない状態である。
▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・ これまで住宅需要は高額物件を中心に堅調な動きであったが、軟調な米国の株価や資源相場の高騰などの影響で、若干の減速感が出始めている。コロナ禍による特需の反動減に対する懸念が広がっている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、昼間の人出もかなり減っている。
×	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	来客数の動き	・ 直営店の来客数が減少している。新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、外出の機会が減少している。
×	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・ 年明けの仕事初めの頃から、街が意外なほど静かで、人の流れも少なかった。来客数がゼロの日も多く、開店休業状態であった。新型コロナウイルスの感染第6波では予想以上の新規感染者数となり、街が戦々恐々としている。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・ バーゲンセールの特典ではあるが、販売量が伸びず、苦戦している。そもそも今月に入って、来客数がかかり減った。新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えたことが大きな要因である。
×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・ 1月は月初から食料品や衣料品が好調に推移していたが、新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始めた11日頃以降、来客数が急速に減ったと感じる。特に、60歳以上の来店が減ったことが、売上に響いている。
×	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・ 新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、売上、来客数共に減少しているが、感染第5波のピークであった前年の8～9月と比較すると、影響は軽微となっている。
×	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルス発生前の来客数と比べると、11月は16.8%の減少、12月は9.3%の減少と改善傾向にあったが、今年に入って新型コロナウイルスの感染拡大の影響が出ている。まん延防止等重点措置の適用が決まった頃から、急に来客数が減少し、厳しい状況が続いている。
×	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・ コロナ禍の悪化により、業況は明らかに下向いている。直近では、明確な目的をもった客の来店がほとんどで、高齢者の来店が激減している。また、来店があっても目的の商品を購入するだけの客が大半で、買い回りなどでの滞留は非常に少ない。
×	百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大で、外出の自粛が増え、来客数が大幅に減少している。

×	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・年明けから新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、大雪などの悪天候も続いたため、客足が伸びていない。まん延防止等重点措置も月末から適用されたことで、早期の売上回復は見込めない。その一方、バレンタインデー関連の催事などでは、にぎわいがみられる。自分への御褒美として高級チョコレートを買って求める客も多く、限定的ではあるものの、消費意欲は引き続き強いと感じている。
×	百貨店（宣伝担当）	来客数の動き	・今月の中旬以降、人出が一気に少なくなって売上が激減している。新型コロナウイルスの新規感染者数が前回よりも大幅に増えているため、従業員のほか、取引先でも感染者や濃厚接触者が増え、店舗の運営にも影響が出ている。
×	スーパー（店長）	来客数の動き	・関西でのまん延防止等重点措置の適用が決まり、1月20日以降、来客数が極端に減っている。
×	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数が激減している。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に比例して、来客数が落ち込んでいる。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、来客数が減っている。零細企業への支援を進めていかなければ、廃業が増えていく。
×	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	お客様の様子	・年初は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたが、その後の急速な感染拡大により、来客数は大幅に減少した。買上もそれまでの水準を大きく下回り、再び厳しい状況となっている。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第5波の後は、売上が徐々に回復する傾向にあったが、感染第6波が日に日に厳しくなるにつれて、一気に来客数が減少している。繁華街の様子を見ても、明らかに人が少なくなっている。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるにつれて、来客数が減り、商店街にも人の姿がみられなくなっている。
×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	販売量の動き	・年始以降、人の流れは増えたが、販売の動きは鈍化している。それに加えて、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、まん延防止等重点措置が適用される前から、客の間では自粛ムードが漂っている。
×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・1月3日以降は、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、来客数が激減している。団体客はほぼ全てキャンセルとなり、個人客も大きく減少している。
×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・キャンセルが止まらず、今後は宿泊関連の府民割も止まってしまうが、どうしようもない。
×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、キャンセルが続いている。利用者の多い大阪や兵庫、京都に、まん延防止等重点措置が適用された影響が出ている。
×	都市型ホテル（フロント）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による、まん延防止等重点措置の適用で、1月以降の予約数は伸びず、低稼働のまま推移している。
×	都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・12月24日に京都府内で新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が確認されると、個人予約のキャンセルが開始、厳しい状態が続いている。観光目的での宿泊者は少なく、必要最低限の宿泊の利用のみとなっている。
×	都市型ホテル（販売促進担当）	来客数の動き	・初秋から12月にかけての来客数の増加で、宿泊は好調であった。1月も中旬までは約50%の稼働率であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で急激に落ち込み、月末は37%となる見込みである。レストランも、まん延防止等重点措置の適用決定により、平日の予約が減り始めている。
×	旅行代理店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、まん延防止等重点措置が適用され、来客数や受注が減り、キャンセルも増えている。先の旅行の相談もあるが、様子を見ている客が多い。

	×	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用で、景気が更に悪化している。
	×	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による、まん延防止等重点措置の適用により、客の動きがびたりと止まった。特に、2月に延期されていた修学旅行などが中止になるなど、景気は悪くなっている。
	×	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、予定していた展示会などのイベントが中止になるなど、売り込みの機会を失っている。株価も落ちているなか、近くの店舗は再び休業し始めている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてから、明らかに客足が鈍くなっている。新型コロナウイルスオミクロン株は重症化率が低く、インフルエンザと症状がさほど変わらないようにみえるが、現状の対応は、重症化しやすかった初期のままであるため、明らかに過剰な対応が要求されている。
	×	観光名所（経理担当）	販売量の動き	・今月の初めから、売上は既に減少していたが、後半になるほど減少幅が大きくなっている。
	×	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大で、1月中旬から一気に消費マインドが落ち込んでいる。来客数、販売量、滞留時間の全てで悪化している。
	×	美容室（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で予約のキャンセルが相次ぎ、店がガラガラの状態である。特に、当店に多い高齢の客は、感染を恐れてかなり外出を控えている。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	*	*	*
	○	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・年末年始の消費者の動きは良かったが、1月の中旬以降は新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増え、売上が再びやや減少した。ただし、売上全体はやや良い水準となっている。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・納期が来年度の製品の受注量が増えている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年始は順調に受注量が確保できていたが、20日頃から減少している。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・かなり先の注文が入っているが、受注量は確保できても、仕入れと売上にタイムラグが出始めている。現時点で月次の収支が合わなくなっている。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・前年の12月前半までは、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあったため、経済を回すことが優先されていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大し、地域によっては社会インフラが回らなくなっている。新型コロナウイルスオミクロン株は感染の周期が短いとの見方もあり、収束に向かえば受注量も増えそうであるが、現状は変化がみられない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小口の引き合いはあるが、通常の数%という金額である。
	□	一般機械器具製造業（設計担当）	それ以外	・物価が少しずつ上昇している一方、消費者の収入は増加が見込めない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪いが、世界的な半導体市場の好調で業況は良い。今は半導体の市況が新型コロナウイルスの影響を上回っており、総合的には景気は良い状態を維持している。
	□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・初売りとなる1月の2週目は、洗濯機や冷蔵庫などの大型商品を中心に実売が増えた。ただし、それ以降の週も加味すると、前年の実売台数を上回っている大型商品は、冷蔵庫と有機ELテレビぐらいである。
	□	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建設資材価格の高騰で、見積り価格が上昇しているほか、資材不足で納期が未確定となり、工期内でのしゅん工が厳しい状況である。コストの上昇と建設資材不足に苦慮している。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・本来は、この時期から少しずつ受注が増えてくるが、前年と比べて、特に増えも減りもしていない。

	□	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・年末からの大雪に加えて、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大で、営業活動にも支障が出ている。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がかなり拡大しており、飲食や航空、旅客、旅行関連での売上減少が危惧される。
	□	金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・前年11月頃のコロナ禍の収束時には、これで回復基調に乗っていきけると感じたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、まん延防止等重点措置が適用となった。飲食店を中心に、売上確保に苦慮する局面が終わらない。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・Web媒体、紙媒体共に、今年に入ってから広告の受注量が減っている。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、交通広告の短期の出稿が減り続けている。
	□	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けての引き合いは増えているが、製品の生産遅延が続いている。
	▲	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・業務用製品は少しずつ売上が伸びていたが、ここへきて以前のように受注が減りつつある。家庭用製品にも、予想したような伸びはみられない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	受注量や販売量の動き	・回復が予想された受注量も、新型コロナウイルスの感染第6波の影響でイベントのキャンセルが増え、以前のように減少し始めている。
	▲	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車向け部品の減産の影響を受け、製品の出荷量が減少している。
	▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足により、受注のけん引役であった自動車産業の工場稼働率が低下し、関連各社の荷動きも悪くなっている。
	▲	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・部品不足により、自動車メーカーの生産ラインの稼働が安定せず、生産や出荷に影響が出ている。
	▲	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少している。
	▲	金融業（営業担当）	それ以外	・まん延防止等重点措置の適用による影響は大きい。
	▲	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染第6波の発生で、まん延防止等重点措置の適用も決まり、商店街の夜間の人出が激減している。
	▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末から正月の帰省のピークである1月3日を境に、駅構内の各店舗は売上が大きく悪化し始めた。特に、夕方18時以降の売上は前月比で3割程度落ち込んでおり、退社後は早めに帰宅する動きが見られる。
	▲	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に全く増えておらず、悪い状況である。
	×	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	×	繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・コロナ禍への対応で、再び催事の縮小や延期が増えて販売機会も減っているため、売上は前月から50%ダウンとなっている。また、社員の一部は、家庭内での感染で濃厚接触者となり、自宅待機のため、仕事が停滞している。
	×	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・当市でもまん延防止等重点措置が適用され、飲食店の営業時間が短くなっているため、飲食店から賃料の値下げ要求がくると予想される。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で先が見通せない。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・求人数が前年比で回復している。
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・12月は2年前と同等の求人数があり、景気が比較的戻ってきた感がある。
	○	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・1月に入り、求人数が増えている。今のところは、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による影響は出ていない。

○	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大が続いているものの、全体的に3か月前よりも求人数は改善している。ただし、飲食業などの非正規雇用が多い業種では、感染の拡大によるまん延防止等重点措置の適用を見据え、求人数は減少し始めている。
○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大が続くなか、感染第5波と比べて人の流れはそれほど減っておらず、消費も飲食を除けばある程度戻っている。これらを踏まえると、3か月前と比べて少し良くなってきたと感じる。
○	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・3か月前と比べると上向いているが、やや足踏み状態で、改善の動きには力強さが感じられない。
○	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、特需による求人がまた発生している。
□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・2か月ほど前から、新型コロナウイルスの影響が落ち着き、景気回復に伴う人材の需要がかなり増えたが、感染第6波の影響で急ブレーキがかかる形となった。現在の契約もあり、今年の3月までは需給バランスの取れた状態が続くそうであるが、新年度の状況は見通せない。企業は人材採用に再び慎重になってきている。
□	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・急速に売手市場へと変化し、オーダーはあっても人材がいけないという状況である。
□	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・観光地や繁華街での人出が増え、消費も増え始めた矢先に、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、再び外出自粛の空気が広がっている。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年と比べると、新規求人数は若干増加している。介護や警備などの業種では、引き続き人材不足の状況となっている。
□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・大阪では全業種で、新規求人数の前年比がプラスとなった。堅調な製造業以外に、物流関係も大幅な増加となっている。また、宿泊業の求人も増え、前年秋の緊急事態宣言解除後の需要に対応した求人や、新規オープンに向けた求人もみられる。一方、有効求職者数も増加していることから、雇用情勢全体については、厳しさがみられる状況に変化はない。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で7.7%増えているなど、求人は底堅く推移している。
□	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株への対策に追われる日が続いており、学内でも感染者が出始めている。本来、4年生は国家試験対策で大変な時期であるが、就職活動も停滞気味であり、今後の見通しも立っていない。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・コロナ禍が拡大し、まん延防止等重点措置の適用が決まったことで、急激に景気が悪くなっている。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によって、1月の上旬と下旬では大きく周囲の様子が異なる。求人を募集する企業は、就職フェアなどのイベントへの参加見送りや、対面からオンラインへの切替えの要望が増えている。求職者である学生も、大学内への立ち入りが減り、全体的に動きが鈍いように感じている。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で先が見通せない。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・ここへきて、2022年卒の求人がかなり減少している。
×	—	—	—